

産業成長戦略(連携テーマ:人材育成・確保)の  
進捗状況報告

平成22年9月3日(金)

## 1. 人材を県内で育てる

### (1) 年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり

#### ① 小学校、中学校、高等学校、大学における教育

### ア. 小学校、中学校における教育

#### ◆ 職場体験学習の推進

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

中学校における職場体験学習の実施率 H20:91.5% → H21:94.8%

〈課題と今後の方向性〉

- 職場体験学習等が含まれている年間指導計画等に、将来の生き方と進路の適切な選択などの新学習指導要領の内容が十分反映されていない学校がある。  
⇒ 市町村や学校への指導を行う。
- 「将来の夢や目標を持っている」小学生の割合が全国平均より低く、また中学生になると全国平均並みだが、その割合が大幅に減少している。  
⇒ 先進事例の普及等により職場体験学習をさらに充実させ、肯定的な回答の数値の改善を図る。

### イ. 高等学校における教育

#### ◆ 社会人としてのスキルアップ研修の実施

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

就職希望の高校3年生を対象にした講習会の開催 :

H22:8月までに21校で開催(759名参加)、H21: 21校(778名参加)

〈課題と今後の方向性〉

- 事業の趣旨を理解した講師の選定
  - 生徒の取り組む姿勢の向上
- ⇒ 9/16の就職試験開始までに、各校で引き続き個別指導を行う  
事前、事後指導の徹底により、生徒自らがスキルアップできるようにする

## 1. 人材を県内で育てる

### (1) 年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり

#### ① 小学校、中学校、高等学校、大学における教育

### イ. 高等学校における教育

#### ◆ インターンシップの強化、拡大

##### ◇ 企業でのインターンシップの実施

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

県内企業へのインターンシップの実施 H22:8月までに延べ12校、694名が参加、222社が受入

〈課題と今後の方向性〉

- 企業や他の教育機関との十分な連携
- 連携先の企業(=研修先)が対応可能な研修内容の情報収集  
⇒ 関係機関との連携を密に、研修先となる企業の情報収集を行う  
⇒ 事業の目的等について、企業と十分な打ち合わせを行う
- 受け入れ企業の確保
- 参加者の増加

##### ◇ 農林業体験インターンシップの実施

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

- ・ 農業高校、農業関連コース等の生徒を対象とした技術研修 H22:8月までに2校、35名が参加
- ・ 県内高校全ての生徒を対象とした営農家による講演 H22:8月までに6校、18名が参加

〈課題と今後の方向性〉

- 参加者の増加  
⇒ 広報活動の強化
- 受け入れ農家の確保  
⇒ 県農林業機関やJAとの連携を強化し、農家の推薦を依頼

## 1. 人材を県内で育てる

### (1) 年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり

#### ① 小学校、中学校、高等学校、大学における教育

### イ. 高等学校における教育

#### ◆ 本県産業や事業者に対する再認識に向けた保護者等の意識啓発

##### ◇ 保護者を対象とした啓発

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

外部講師による保護者対象進路講話の実施 H22:8月までに5校実施、195名が参加

〈課題と今後の方向性〉

○ 参加する保護者の増加

⇒ 効果的な話ができる講師の選定

⇒ 参加しやすい日程で調整

⇒ 保護者への学校情報の提供や行事への参画を促し、共通理解を醸成

◇ 企業実習や企業研修等を通じた学校と産業界、企業との連携強化

別紙1(地域産業担い手人材育成事業)のとおり

### ウ. 大学における教育

#### ◆ インターンシップの強化、拡大

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉 ※実施率 参加学生数/対象の学年の学生数

##### ■ 工科大

・H.21 参加学生数 286名(※実施率79.4%) 受入企業等の数175社

・H.22 参加学生数 387名(※実施率72.2%) 受入企業等の数172社

##### ■ 女子大

・H.21 参加学生数 92名(※実施率60.1%) 受入企業等の数92社

・H.22 参加学生数 87名(※実施率54.7%) 受入企業等の数38社

〈課題と今後の方向性〉

○ 景気後退による受入企業数の減

⇒ 企業訪問による新規実習先の開拓と現在の実習先の確保

○ 対象学生の増加に対応した受入先の確保

⇒ 実績のある企業に受入を要請

○ 学生と受入先のマッチング

## 1. 人材を県内で育てる

### (1) 年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり

#### ② 県内企業の情報の提供、就職相談

### ア. 就業支援相談センター(ジョブカフェ)

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉 ※H22. 7. 31現在

- ・相談件数(キャリアコンサルタントによる就職活動全般の個別相談): 3, 086件(うち幡多サテライト287件)
- ・H21同期: 2, 622件(うち幡多サテライト136件)
- ・学校出張相談: 30校で実施、1, 919人が参加
- ・セミナー: 556人参加
- ・しごと体験: 165人実施、うち80人採用(就職率48. 5%)
- ・就職者数: 302人

〈課題と今後の方向性〉

- H21. 4. 4に四万十市に設置した「ジョブカフェ・幡多サテライト」の認知度向上と利用者の増加
  - ⇒ 民放3局でのTVCM放映ほか、機会を捉えた広報を実施
  - ⇒ 緊急雇用により広報員を配置し、ジョブカフェのPRを実施

### イ. 未就職者への対策

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

- ・H22. 3の新規高卒者の未就業者に対し、早期の就職支援として職業訓練を実施
  - 民間訓練機関による職業訓練: 職業訓練スタート31名 うち24名が訓練を継続中
- ・就職コーディネーター2名配置

〈課題と今後の方向性〉

#### ○ 訓練修了後の希望把握と適切な進路指導

- ⇒ 現在訓練中の24名について、訓練中の支援はもちろん、修了後は、各種就業体験メニューを活用し、個々の希望や適性等を見ながら、効果的な就職支援を実施

#### ○ ジョブチャレンジ受入先、民間雇用先等の開拓

## 1. 人材を県内で育てる

### (1) 年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり

#### ③ 若手人材による異業種交流研修

---

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

産業振興計画の講義、グループディスカッション 等

・第1回:H22. 8. 27(高知市)

テーマ…産業振興計画の概要、産業成長戦略 等

参加者:112名

【今後の開催予定】

・第2回:9. 24(高知市)

テーマ…食品加工、講師…熊谷喜八氏

・第3回:10. 21(高知市)

テーマ…地産地消・外商、講師…山本謙治氏、梅原真氏

・第4回:11. 19(高知市)

テーマ…観光、講師…沢登次彦氏

・第5回:H23. 1. 17(高知市)

テーマ…新産業創出、講師…藤井雅俊氏

## 1. 人材を県内で育てる

### (2) 地域産業を創造、リードする人材育成

#### ① アドバイザー、工業技術センター研修

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

#### **ア. 産業振興アドバイザー制度**

H21派遣実績: 259回(地域支援123回、県所管事業136回)、39事業、62名

・派遣分野: 商品開発・改良に関するものが最も多い

・派遣の効果: 派遣により「取り組みが進み、成果があった」、「現在、具体的に取り組んでいる」がほとんどを占めている

H22派遣実績(8月末現在): 47回(地域支援29回、県所管18回)、27事業、16名

#### **イ. 工業技術センター研修**

H21開催実績: 26コース、734名参加

・研修内容(例):

・「産業技術人材育成(機械金属)」: 製造業の担い手となる技術者を養成

・「成分分析講座」: 科学分析技術を身につけることで、品質管理やクレームに対応する人材を育成 等

H22開催実績(8. 13現在): 17コース、461名参加

〈課題と今後の方向性〉

- 産業振興アドバイザー制度と同趣旨の制度とのすみ分け、役割分担
- 潜在化している課題と顕在化している課題との乖離
- アドバイザーリストの整備
- アドバイザー派遣の効果測定
- ⇒ 派遣終了時のヒアリングの実施

1. 人材を県内で育てる

(2) 地域産業を創造、リードする人材育成

OJT、OFF-JTを組み合わせた体系的な人材育成

---

別紙2(地域産業を創造リードする人材育成(主な新規、拡充事業))のとおり



## 2. 人材を外から持ってくる・人材を引き留める

### (1) 産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり

#### ① 担い手対策(一次産業)

#### ア. 農業

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

・新規就農研修支援

H22:8月末現在で34名(19市町村)が研修中 H21:21名(14市町村)が研修

・都会で学ぶ農業技術研修

東京会場では、募集人員20名に対し18名が受講中。大阪会場は、9.26より開講

※H21新規就農者数:161名(目標:150名)

※H22(6.1現在):197名(目標:年間170名)

〈課題と今後の方向性〉

○ 新規就農研修未実施市町村での制度導入と受入体制の強化

⇒ 新規就農研修未実施市町村への推進

⇒ 指導農業士の認定推進等による新規就農希望者の受入体制の強化

○ Uターン就農希望者の確保に向けたPR

⇒ 本県での就農希望者のリスト化

⇒ 早期研修の実施により、新規就農者の安定的な確保、スムーズな就農につなげる

#### イ. 林業

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

・新規就業者職業紹介アドバイザーの設置

H21.5から支援センターにアドバイザーを設置

事業体への個別訪問による雇用情報の収集等や、就職相談会への参加を実施

・林業労働力確保支援センターの取り組み

林業PR等のため高校訪問を実施(実施校…H22:16校、H21:18校)

高校生の林業職場体験教室を開催(参加者…H22:5名、H21:2名)

・特用林産業新規就業者支援事業

室戸市及び東洋町で各2名の新規就業者が研修を開始(室戸市9月～、東洋町8月～)

※H20末林業就業者数:1,541名(H23末目標:1,560人)

## 2. 人材を外から持ってくる・人材を引き留める (1) 産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり ① 担い手対策(一次産業)

### イ. 林業

#### 〈課題と今後の方向性〉

- 林業事業体による、計画的な雇用ができていない。このため、高校新卒者に対し7月時点で求人票が提出されにくい状況となっている。
- ⇒ 事業体訪問による雇用情報の収集やハローワークを通じた求人を実施するよう働きかけ
- ⇒ 就職相談会や体験教室などの機会を活用
- 特用林産業新規就業者の研修生受入体制の強化
- ⇒ 生産者として地域に定着できるよう関係市町とも連携

### ウ. 水産業

#### 〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

- ・新規漁業就業者支援(長期研修)  
H22:8名の長期研修生を確保(4名は予定) H21:7名
- ・漁船リース  
H22は4名が利用(1名は予定) H21:2名が利用
- ※H21新規就業者数:34名(目標:22名)

#### 〈課題と今後の方向性〉

- 未実施地区等における長期研修者受入れ体制の構築
- ⇒ 将来の漁業者の減少を見据えた地元意識の啓発  
漁業就業アドバイザーを活用(事業の広報、情報収集、就業相談対応)し、幅広い世代から担い手を確保

2. 人材を外から持ってくる・人材を引き留める  
(1) 産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり  
② 移住、UJIターン、就業相談

## ア. 移住

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉

・移住プロモーションの実施

都市部で行われる移住相談会へ参加するとともに、観光振興部とも連携したPRも展開

・移住コンシェルジュの取り組み

4月から「移住コンシェルジュ」の相談窓口を地域づくり支援課内、ひろめ市場入口横に設置し配置

※県相談窓口への相談件数

H22(9.1現在)151件(目標:360件)、H21:336件(目標:300件)

H22(9.1現在):7件、H21:7件、H20:8件

〈課題と今後の方向性〉

○ 効果的に事業を進めるため、他県との差別化及び更なる情報収集の徹底

⇒ 「移住コンシェルジュ」といった特色ある取り組みを実施していくことで、差別化を図り、高知県の売り込み

○ ふるさと雇用事業終了後(H24.4～)の「移住コンシェルジュ」の設置継続

⇒ 「移住コンシェルジュ」の継続のため、具体的な移住者数の把握に取り組み、設置による効果を測定

## 2. 人材を外から持ってくる・人材を引き留める (1) 産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり

### ② 移住、UJIターン、就業相談

#### イ. UJIターン、就業相談

## (2) 専門的なノウハウ、技術を持った中核人材の県外からの確保

### ① UJIターン関連事業の推進

[ キャリア人材の誘致 ]

〈主な取り組みと第2四半期までの実績(昨年度含む)〉 ※H22. 8. 31現在

- ・「高知県U・Iターン人材情報システム」における求人・求職情報の提供
- ・新規登録求職: 75名(うち「高知で暮らす。」ポータルサイトからの登録が34名)
- ・新規登録求人企業: 22社
- ・就職者数: 5名
- ・「高知県U・Iターン企業就職等支援センター(総合案内)」の設置
- ・「高知県U・Iターン無料職業紹介所」の運営
- ・職業紹介による就職者数2名(上記5名の内数)

※U・Iターン人材情報システムへの新規登録数:

H22(目標): 求職者140名、求人企業40社    H21: 求職者64名、求人企業30社

〈課題と今後の方向性〉

- 雇用状況悪化による新規登録企業数の伸び悩み  
⇒ 緊急雇用を活用した「U・Iターン求人企業開拓員」を配置。個別に企業訪問して、求人企業を開拓
- 新規登録求職者の増加  
⇒ 県外事務所を通じた高知県出身者への周知

## 2. 人材を外から持ってくる・人材を引き留める

### (1) 産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり

#### ③ 県外大学等への県内就職に向けた情報提供

---

別紙3(新規大卒者等県内就職支援事業)のとおり